九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

Learning British history in English education

鈴木 右文
九州大学大学院言語文化研究院

https://doi.org/10.15017/1339425

出版情報：英語英文学論叢. 60, pp.45-62, 2010. 九州大学英語英文学研究会
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

英語・異文化学習における英国史教育の試み

鈴 木 右 文

概要

筆者は、2009年度の一般英語の授業と海外英語・学術研修において、簡略な英国通史の教科書を使用した。それを機に、学生の持つ英国史に対する知識と、英語で書かれた簡略な英国通史を勉強した場合にどれだけその知識が深まるかという点について、受講者・参加者にアンケート調査を実施した。本稿はその結果を報告し、英語・異文化学習における指導方法を考察することを目的とする。

1．はじめに

英語圏に対する異文化理解が、英語学習の背景として重要な要素であることは論を待たない。その異文化の中には、共時的な実態はもちろんであるが、その実態を生起せしめている歴史的背景というものが含まれる。しかし、大学における一般英語教育のカリキュラムの構成の中で、英語圏の歴史が体系的に教えられるということは、普通見られないことである。授業の中で、通時的事象について断片的に言及があるというのがせいぜいのところであろう。四技能、文法、単語などをはじめ、学習すべきことが多くあるため、歴史を体系的に学習する余裕はないのが実態であろう。

筆者は、自らが主宰する海外英語・学術研修の事前研修で英国の簡単な通史を扱ったことをきっかけに、九州大学の英語Ⅳという、内容に応じて学生が受講クラスを選択する科目において、その通史を教科書にして、英文で英国の簡単な歴史を扱った。この研修[1]に参加する数十名の参加者は、英国を体験する中で、特に歴史に関する知識不足とその事前学習の欠如を痛切に反省するコメントを例年多数残してきている。歴史豊かなケンブリッジの街での見聞から得られることも、歴史の理解が背景にあるとないとでは、全くその量と質が違う。この声を活かすべく、

2009年夏に現地研修を迎える参加者から、簡単な英国史を事前研修に盛り込むこととした。また、現地でこれほどまでに痛切に必要性を感じる知識であるならば、一般英語教育の中で試みる価値があると見定めて、九州大学における英語の授業でも同じ教材を試用した次第である。

本稿は、これらの英国通史学習に関するアンケート調査を報告するものだが、英語教育の中における英国通史の学習について、指導方法を探索するという目的も持つ。

2．使用教材

筆者は、2009年夏にケンブリッジ大学英語・学術研修に参加した学生と、2009年度前期法学部2年生の英語Ⅳの受講者に、『図解イギリスの歴史（*Essential British History*）』（Antonia Cunningham 著、小野茂・小野恭子編註、開拓社）という、英文で書かれた50ページあまりの短い英国史の学習を課した。

研修の方では、2008年12月はじめに教科書を購入してもらい、12月、4月、6月、8月と4度の学習連絡会で歴史学習の重要性を説きながら、定期的に計5回の締切に分け、それぞれ指定された範囲について、読解独習した内容をまとめたノートのコピーの提出を求めた。

授業の方では、いくつかの開講クラスの中からこの教科書を使用することを承知で希望した学生が受講者となった（しかし振り分けがあるので必ずしも志望第1位とは限らない）。受講者に指定範囲の要約を発表してもらった上で、教員が解説を加えていく授業形式をとり、2回の中間試験と学期末試験を課した。

3．アンケートの概略

アンケートは、研修参加者の場合、出国直前の8月の学習連絡会において実施した。研修には参加者として正規の九大生以外が2名含まれていたが、この2名はアンケートの対象としなかった。残る23名のうち2名は回答内容が不備で、集計対象からはずすこととし、結局21名から回答を得た形になった。授業の方では、定期試験の冒頭に、51名を対象にして実施した。

アンケートでは、教科書から筆者の主観によって抽出した合計167の用語について、この教科書による学習の以前から知っていたかどうか、

教科書の学習の後の理解はどうであるかを尋ねた。具体的には、簡単な説明ができる位の理解であるものを○、それはかなわなくても聞いたことはあるという程度であるものを△、聞いたこともないというものを×で回答してもらった。同時に、高等学校における世界史の履修の有無、センター試験受験科目としての世界史の選択の有無を尋ねた。集計では、研修参加者と授業受講者のそれぞれについて、世界史を履修しセンター試験で選択したグループ、世界史を履修しセンター試験で選択しなかったグループ、世界を履修せずセンター試験でも選択しなかったグループの３つに分けた（世界史を高等学校で選択せず、かつセンター試験では選択したという学生は皆無であった）。

このアンケートの結果は、本稿に本文とは切り離した形で添付してあるとおりである。紙面の都合で細かな表になっていることをお詫びしたい。

４．学習前の英国史理解の程度

教科書での英国史学習に入る前の時点での英国史項目の理解の程度をまとめると、表１のようになる。

表１　（%）

		○	△	×
研修	高校世界史履修有、センター試験世界史選択有	39	33	28
	高校世界史履修有、センター試験世界史選択無	14	23	64
	高校世界史履修無、センター試験世界史選択無	8	24	68
	小　計	19	26	55
授業	高校世界史履修有、センター試験世界史選択有	45	27	28
	高校世界史履修有、センター試験世界史選択無	17	29	54
	高校世界史履修無、センター試験世界史選択無	12	25	64
	小　計	30	28	43
総　計		27	27	46

総計のところからわかることは、九大生の場合、簡略な通史に見られる代表的な項目であっても、だいたいわかっていると言えるものは４分の１程度しかないということであり、半数近くの項目は聞いたこともないということである。簡略とは言っても、一般的な高等学校の世界史教科書よりも詳しい内容であるから、当然の結果であろう。従って、現地

研修の経験者が歴史理解の不足を反省しているのも当然である。高校程度の世界史では、地域を限定しての通史理解には十分でなく、現地での異文化吸収のためには、さらに事前勉強が必要である。

また、研修でも授業でも、高校で世界史を履修しかつセンター試験で世界史を選択した者（30人）、高校で世界史を履修しながらセンター試験では選択しなかった者（31人）、高校で世界史を履修しなかった者（11人）の順に理解度が落ちているとほぼ言えるが、これは誰にでも予想できることである。加えて特に、センター試験のために勉強したことが大きな力になっていることが、数値から明らかである。また九大生一般を相手にしたとき、歴史項目の理解が一桁%の学生が全体の15%程度いる（72人中11人）ということを考慮に入れなければ、消化不良を起こす恐れがある。

さらに、研修参加者と授業受講者の間にはそれほど大きな差はないが、若干授業受講者の方が理解がよい。これは、研修参加者が様々な学部の学生で構成されているのに対し、授業は文系の法学部の学生であり、世界史をセンター試験で選択した学生の割合が大きいことにもよると考えられる（研修参加者は21人中6人（29%）であるのに対し、授業受講者では51人中24人（47%））。

5．学習前後の英国史理解の程度の比較

次に、教科書での英国史学習が終了した時点での英国史項目の理解の程度をまとめると、表2のようになる。

表2 (%)

		○	△	×
研修	高校世界史履修有、センター試験世界史選択有	49	34	17
	高校世界史履修有、センター試験世界史選択無	34	41	25
	高校世界史履修無、センター試験世界史選択無	24	47	30
	小　計	35	41	24
授業	高校世界史履修有、センター試験世界史選択有	60	28	12
	高校世界史履修有、センター試験世界史選択無	42	39	19
	高校世界史履修無、センター試験世界史選択無	32	39	29
	小　計	50	34	16
総　計		46	36	19

表1と表2で英国史の勉強による成果を見ると、まず総計の比較からは、○と△が大幅な伸びを見せ、×は急速に減少している。特に○は46%と半分近くに達している。研修と授業での伸び率を比較すると、○が研修では84%増に対し授業では67%増、△が研修で58%増に対し授業では21%増となり、研修の方が伸び率が大きい。但し若干研修の方が学習前の理解が劣るため、伸び率に見られるほどの差はないようにも思える。従って、同じ教科書を扱うときに、研修での独習でも、授業での学習でも、目立った差があるとは言えないようである。研修では、試験が課されるために学習が強制されるという側面がないのにモティベーションが高く、授業では、試験があるために学習に時間がきちんと割かれる反面モティベーションに関して言えば必ずしも高くないという分析もできるだろう。試験が効果を高めることは前節のセンター試験のところでも見たとおりである。

また、高校で世界史を履修していない学生の歴史項目理解は、センター試験で世界史を選択した学生に比べると、同じ学習をこなした後でも、半分程度にしか達しない。この差について、授業方法や成績判定等で考慮が必要であろうと考えられる。

6．そもそも理解度の高い項目

学習を行う前の時点で○の割合が高い項目を全体の1割まで（第17位の項目まで）取り上げると、表3のようになる。

表3

項　目	72人中の人数
アヘン戦争	55人
同盟国・連合国、枢軸国・連合国	54人
ヴェルサイユ条約、ナイチンゲール、EEC/EC/EU	51人
十字軍、王権神授説	50人
荘園	49人
農奴	48人
マグナ・カルタ、アダム・スミス	45人
東インド会社	44人
封建制度、名誉革命	43人
湾岸戦争	41人
修道院、清教徒革命	40人

これらの項目は、特に世界史や英国史を意識して勉強した人でなくても一般常識として流布しているような範疇のものである。その証拠に、これらの用語はすべて『広辞苑』（第5版）に見出し語として掲載されている。そういう目で見ると、意外に○の人数が少ないと思われるのは、サッチャー（29人）、ブレア（35人）、チャーチル（25人）のような大戦およびそれ以降の歴史に関する項目である。高等学校の世界史や日本史の授業でも、大戦以降は駆け足になってしまうとよく言われるが、そのとおりだということを実感する。

7．そもそも理解度の低い項目

学習を行う前の時点で○の割合が低い項目を全体の1割まで（第17位の項目まで）取り上げると、表4のようになる。

表4

項　目	72人中の人数
チェスター・カスター[2]、ボロ[9]、シャー[1]、ロバート・ブルース[5]、南海泡沫事件[6]	0人
イースト・アングリア[7]、セイン[8]、ノルマンのくびき[9]、ウィリアム・ウォレス[10]、ペイル[11]、共通祈祷書[12]、メソジスト[13]、扇動禁止法[14]、カナダ法[15]、統一アイルランド人同盟[16]、トレヴィシック[17]、労働災害補償法[18]、NHS[19]	1人

これらの項目には、かなり英国史の勉強をした人でなければ知らないであろうと思われるものが多く、『広辞苑』（第5版）でも「メソジスト」「トレヴィシック」を除いて見出し語になっていない。

しかし、少しでも英国に関心を示す知識人となれば、ボロ、シャー、イースト・アングリア、トレヴィシック、NHSなどを聞いたこともないということはないはずで、本稿のために簡略通史から拾い上げた程度の項目は押さえておきたいものであり、少なくとも英国理解へのモティベーションを持つはずの研修生には、しっかり学習するよう指導すべきであろうと考えられる。ケンブリッジ大学英語・学術研修における履修科目も、英語科目は学術目的のアカデミック・イングリッシュであり、

この学術科目（アカデミック・イングリッシュ）の中には英国近代史も含まれているので、なおさらに英国通史の理解が望ましいと言える。

但し、このレベルの項目が広く大学生一般に必要だとまでは言えないであろう。世界には多くの言語があり、英語圏の１カ国でしかない英国の歴史をこれほどまでに詳細に見ていく必要はないとも言える。従って、時間に限りのある一般英語教育のカリキュラムの中で、上記のような項目を教え込むことに躍起になる必要はなく、むしろそぎ落としておくべきであろうと考えられる。しかし、英語学習の懸命さが、やがて他の言語を学習するための準備であるという側面があるように、英国史学習の懸命さにも、他言語の学習に関係した異文化理解のための準備であるという側面があると思われるので、その意味において、深く分け入ってある国の歴史を眺め渡す機会というものが、大学生の学習内容の一部に選択制として含まれることには大きな意味があるものと考えられる。

８．学習して理解が高まる項目

学習の前後で○が目立って増えたものに注目してみる。学習前後の○の増加率に着目するとなると、学習前の○が０や１である場合は、大きな数値になり過ぎるので、○が増えた絶対数を基準とし、その伸び数の17位までを調べた。結果は表５のようになる。

表５

ヴァイキング	43人
アルフレッド大王	33人
ケルト人	30人
共和制	29人
バラ戦争	27人
大司教[20]	26人
メアリ１世	25人
ノルマン朝、ウィッグ・トーリ	24人
王政復古、エール（アイルランド共和国）	23人
三圃式農業、貧民救助法、ゼネラル・ストライキ	22人
ウィリアム・ピット（小ピット）、グラマー・スクール、アルスター義勇軍[21]	21人

『広辞苑』（第5版）で調べてみると、これらの項目のほとんどが見出し語となっており、見出し語になっていないのは「貧民救助法」と「アルスター義勇軍」だけである（「共和制」は見出し語になっているが、クロムウェルによるものへの言及はない）。これは7節の「そもそも理解度の低い項目」がほとんど見出し語となっていないのとは対照的であり、むしろはるかに6節の「そもそも理解度の高い項目」に近い。これはいったいどうしたことであろうか。

おそらくこれらの項目は、世間では頻繁に話題にのぼり、聞いたことがあっても、なかなか内容についてまで了解することが少ないタイプの項目なのではないかと考えられる。そこで、上記の17項目について学習前が△であった人数を調べてみると、表6のようになる。

表6

ヴァイキング、アルフレッド大王	31人
ケルト人	30人
共和制	35人
バラ戦争	27人
大司教[20]	32人
メアリ1世	25人
ノルマン朝	32人
ウィッグ・トーリ	22人
王政復古	29人
エール（アイルランド共和国）	26人
三圃式農業	15人
貧民救助法	24人
ゼネラル・ストライキ	28人
ウィリアム・ピット（小ピット）	30人
グラマー・スクール	10人
アルスター義勇軍[21]	15人

学習前に△とした人数の全項目の平均値は19.6人である。それらから比べると、上記17項目中14項目がこの人数を上回り、平均としても26.0人であり、上記の項目は、全体としてそもそも聞いたことがある人数が多い項目であると言える。

なぜこれらの項目の理解が進む割合が大きいのかは不明であるが、このような理解が進みやすい項目を積極的に捉えて授業を進め、独習に取り組ませることが学習にとって有利に働くということが言えるのではないだろうか。特に、学習や指導の時間の制約がきつい場合には、このよ

表7

項　　目	増 加 数
ケルト人	△45人→○増加30人
ゲルマン諸族	△42人→○増加10人
サクソン人	△39人→○増加18人
クリミア戦争	△39人→○増加−7人
カンタベリー大聖堂	△36人→○増加19人
キャプテン・クック	△36人→○増加12人
チャーチスト運動	△35人→○増加12人
共和制	△35人→○増加1人
アングル族	△34人→○増加19人
枢密院	△33人→○増加15人
サッチャー	△32人→○増加19人
アルフレッド大王	△31人→○増加33人
ヴァイキング	△31人→○増加43人
ローマカトリック教会	△31人→○増加20人
ウィーン条約	△30人→○増加12人
労働党・保守党	△30人→○増加20人
ウィリアム・ピット	△30人→○増加21人
英蘭戦争	△30人→○増加8人
ランカスター朝	△30人→○増加17人

うな学習効果の高い項目に注目する必要があるだろう。

では△が多い項目が○の増加数が多いかというと、そうとは言えない。学習前に△の数が多い順で上位19項目（同数の項目があり17項目より多くなっている）について、学習前後での○の増加数を見ると、表7のようになる。

これらの○増加数の平均は16.9であるが、表5の○増加の多い項目での○増加の平均値である25.6よりもかなり少なく、全体の平均の13.6に近い。従って、学習前に△の多い項目ということではなくて、表6のような項目に注目して学習することが（特に時間的制約がある場合には）有利であると言えるだろう。

9．学習しても理解が高まらない項目

残念ながら、学習しても理解が高まらない項目というのが存在する。学習前後での○の増加が少ない科目を順に1割取り上げると表8のようになる。

表8

項　目	増加数
全国労働組合大連合[22]	−3人
ペイル[11]、共通祈祷書[12]	1人
ケント[23]、シモン・ド・モンフォール[21]、トレヴィシック[17]、エルアラメインの戦い[25]、ニュルンベルグ裁判[26]	2人
イースト・アングリア[7]、ボロ[9]、ノルマンのくびき[9]、ウェリントン公爵[27]、NHS[19]、フォークランド紛争[28]	3人
バースの浴場文化、国民会議派[20]、	4人
マクアルピン家[30]、ロバート・ブルース[5]、権利の宣言[31]、ニューコメン[32]、ソンム川の戦い[33]	5人

7節の「そもそも理解度の低い項目」との重複が上記21項目中、「ペイル」「共通祈祷書」「トレヴィシック」「イースト・アングリア」「ボロ」「ノルマンのくびき」「NHS」「ロバート・ブルース」の8項目ある。学習後の理解が高まらない要因として、そもそも理解度が低いという要因がまず挙げられるであろう。

しかし、上記21項目中『広辞苑』（第5版）に見出し語として掲載されているのは、「ケント」「シモン・ド・モンフォール」「トレヴィシック」「ニュルンベルグ裁判」「ウェリントン」「フォークランド諸島」「国民会議派」「ニューコメン」の8項目であり、7節の「そもそも理解度の低い項目」（表4）のうち見出し語になっているものが2つしかなかったのに比べると、表8の項目は一般常識の度合いがより高い項目も多く含むと言えそうである。なぜ独習や授業の履修の後もそういう項目の理解が高まらないかが不明であるが、学習や指導に時間がない場合は割愛した方が全体としては効率的と言えるだろう。

10. おわりに

本稿では、簡単な英国の通史を海外研修の事前準備として独習し、あるいは英語の授業で履修しての学習の成果、および学習者の英国史に関する知識の実態についての調査を実施し、今後の指導に活かすため、読

み取れる点を洗い出し、考察を加えた。

その結果、簡略の英国通史に現れるような事項について、次のようなことがわかった。

1）対象学生には全体のおおよそ4分の1程度しか満足な理解がない。
2）学生の15%程度は高校で世界史を履修しておらず、歴史項目の理解に乏しい。
3）高校で世界史を履修した者の方が理解度が高い。
4）センター試験で世界史を選択した者の方が理解度が高い。
5）高校で世界史を履修しなかった学生は学習後もセンター試験で世界史を選択した学生に比べて半分程度の理解にしか達しない。
6）英語で書かれた簡略な通史を学習することによって満足な理解度が半分程度に上がる。
7）そもそも理解度の高い項目、低い項目というものがある。
8）学習して理解度の高まる項目と高まらない項目とがある。学習時間が制限されている場合は前者に傾注するのが賢い。

これらの調査結果を活用して、かけられる時間に応じた教授方法を採ることが望ましい。

アンケートから読み取れることはまだ他にもあるように思うが、このあたりで筆を置くことにする。

注

1）ケンブリッジ大学英語・学術研修と称し、9ヶ月にわたる事前研修を伴った、筆者主宰の海外研修。原則として九大生を対象とするが、大学の公式行事ではない。事前研修では英語および英国の歴史文化等を学び、現地研修では学術英語や、諸科学の中から選択制で専門科目（2009年夏の場合、天文学、英国の現代、美術と建築）を履修する。詳細は http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~yubun/cambridge.html を参照。
2）ローマが占拠していた時代の拠点都市につけられた名前の部分で、砦の意味。チェスター、マンチェスター、チチェスター、ランカスター、ドンカスターなどがある。
3）英国史上、勅許状で特権を与えられた自治都市のこと。スカボロ、マルボロ、エジンバラ、ピーターバラなどの名前に残る。
4）英国史上の州のこと。ヨークシャー、ランカシャーのような名前に残る。
5）スコットランドを長く支配したマクアルピン家に代わり、イングランドを追い出したあとで14世紀に王位に就いたブルース家のロバート1世のこと。
6）1720年に英国で南海会社の株の大暴落により多数の破産者が出た事件。

7）七王国の一つで、現在ではノーフォーク、サフォーク、ケンブリッジシャー、エセックスにまたがる地域の名称。
8）アングロサクソン時代に土地を領有した武士。貴族の前身。
9）フランスから侵攻して打ち立てられたノルマン朝が、アングロサクソン勢力を抑えるために実施した厳しい行政のこと。
10）スコットランドに侵攻したイングランドのエドワード1世に抵抗して戦い、ロンドンで1305年に処刑された騎士。映画『ブレイブハート』でも描かれた。
11）12世紀にイングランド人が侵攻・定住したアイルランドの東部地方の区域。
12）英国国教会の礼拝で使用される公認式文。1549年に編纂、現行版は1662年版。
13）プロテスタントの一派で、英国国教会の腐敗を機に1729年に創立。
14）1795年の法律で、フランス革命の英国への伝播を恐れた小ピットが導入した。
15）1791年に小ピットが導入した法律で、カナダを英仏領に分割した。
16）1790年設立の組織で、アイルランドの独立と新旧教の平等を唱道した。
17）1803年に世界で初めて蒸気機関車を製作した技術者。スティーヴンソンも有名だが、こちらは蒸気機関車の営業運転に初めて成功した人。
18）1906年の法律で、産業事故に関する補償を規定したもの。
19）英国国民健康保険の制度のことで、1948年に労働党の福祉政策により生まれた。これに基づく病院の原則無料は有名。
20）大司教はカトリックでの呼称なので、英国国教会の場合は大主教とすべきであったが、アンケートの段階で筆者が誤記したため、そのままの表記としている。いずれも英語では archbishop である。
21）1966年に、アイルランド共和国軍に対抗して北アイルランドのプロテスタント勢力が結成した武装組織。保守党の後ろ盾でアイルランド自治に反対し1913年に組織された私軍の名称を復活させた。
22）ロバート・オーウェンが設立（1833年）にかかわった、英国最初の全国労働組合。
23）イングランド南東部の州名。ゲルマン諸族の七王国のひとつの名称でもあった。
24）王の横暴に対し1264年に英国で初めて議会を招集した貴族。
25）第2次世界大戦中の1942年、モンゴメリー率いる英国軍がロンメル率いるドイツ軍に勝った、北アフリカでの戦車戦。
26）第2次世界大戦後、ドイツの戦争犯罪人に対して行われた軍事裁判。
27）ワーテルローの戦いでナポレオンを破った将軍。
28）アルゼンチン沖にある英領の諸島の領有権をめぐって、1982年に英国アルゼンチン間で戦争が勃発し、英国が勝利した。
29）1885年に創設されたインドの政党。ガンディーやネールによる対英非協力不服従を旨とした。
30）ピクト人にかわって、9世紀以降のスコットランドの王家となった一家。もとはアイルランドからやってきた。
31）名誉革命後1689年に共同王位に就いたウィリアム3世（オレンジ公ウィリアム）とメアリ2世が承認した議会による宣言で、王権より議会の権力が優位であることを明確にしている。
32）1712年に最初の実用的蒸気機関を発明した英国の技術者。
33）第1次世界大戦の戦いで、英国軍は初日だけで2万人の死者を出した。

高校世界史履修 / センター試験世界史受験	英語Ⅳで英国史受講（51人）												海外研修準備で英国史勉強（21人）												合計（72人）			
	有						無						有				無											
	有						無						有				無											
	24人						22人				5人		6人				9人				6人				72人			
下記項目について	○＝簡単な説明ができる位の理解はある、△＝聞いたことはあるという程度、×＝（今なお）わからない																											
	受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後		
	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×
ケルト人	7	15	2	17	7	0	1	15	6	12	9	1	0	2	3	2	3	0	2	4	0	3	3	0	1	6	2	6	3	0	0	3	3	1	5	0	11	45	16	41	30	1
ハドリアヌスの長城	4	8	12	10	9	5	0	3	19	5	12	5	0	0	5	1	0	4	1	3	2	1	4	1	0	1	8	2	2	5	0	0	6	0	4	2	5	15	52	19	31	22
バースの浴場文化	5	4	15	5	10	9	0	2	20	2	11	9	0	0	5	1	0	4	2	3	1	2	3	1	1	3	5	2	4	2	0	1	5	0	3	3	8	13	51	12	31	28
ローマ軍駐留地円形劇場跡	5	2	17	7	6	11	3	4	15	5	9	8	0	1	4	0	1	4	1	1	4	1	1	4	0	2	7	1	2	6	0	1	5	2	2	2	9	11	52	16	21	35
チェスター　カスター	0	4	20	5	10	9	0	3	19	4	6	12	0	1	4	1	0	4	0	0	6	0	2	4	0	1	8	1	1	4	0	1	4	1	3	1	0	10	61	12	25	34
ゲルマン諸族	13	11	0	17	7	0	6	13	3	10	12	0	0	4	1	2	3	0	3	2	1	5	1	0	1	7	1	3	6	0	0	5	1	2	4	0	23	42	7	39	33	0
アングル族	7	13	4	14	9	1	3	11	8	10	10	2	0	2	3	0	3	2	2	3	1	2	4	0	1	2	6	4	3	2	0	3	3	2	3	1	13	34	25	32	32	8
サクソン族	8	15	1	15	9	0	3	12	7	11	10	1	0	2	3	0	3	2	2	3	1	2	4	0	1	4	4	5	4	0	3	3	0	2	3	1	17	39	16	35	33	4
ウェセックス	3	10	11	9	14	1	1	6	15	9	11	2	0	1	4	1	3	1	0	5	1	1	4	1	0	0	9	2	4	3	0	1	5	0	6	0	4	23	45	22	42	8
イーストアングリア	1	0	23	2	12	10	0	1	21	1	7	14	0	0	5	0	1	4	0	1	5	1	5	1	0	0	9	1	3	5	0	0	6	0	2	4	1	2	69	4	30	38
ケント	2	2	20	2	10	12	0	3	19	1	8	13	0	0	5	0	0	5	0	1	5	0	2	4	0	1	8	0	3	6	0	0	6	1	2	3	2	7	63	4	25	43
アルフレッド大王	11	13	0	19	5	0	1	11	10	18	4	0	0	1	4	4	0	1	3	3	0	3	3	0	0	2	7	3	4	2	0	1	5	1	3	2	15	31	26	48	19	5
ボロ	0	0	24	2	1	21	0	0	22	1	5	16	0	0	5	0	0	5	0	0	6	0	0	6	0	0	9	0	1	8	0	0	6	0	2	4	0	0	72	3	9	60
シャー	0	2	22	0	5	19	0	1	21	2	4	16	0	0	5	0	0	5	0	0	6	1	1	4	0	0	9	0	1	8	0	0	6	1	2	3	0	3	69	4	13	55
セイン	1	1	22	7	7	10	0	0	22	5	6	11	0	0	5	0	3	2	0	0	6	0	0	6	0	0	9	1	2	6	0	0	6	0	3	3	1	1	70	13	21	38
ヴァイキング	7	7	10	23	1	0	6	15	1	21	1	0	2	1	2	4	1	0	3	3	0	5	1	0	2	3	4	7	2	0	1	2	3	4	1	1	21	31	20	64	7	1
デーン人	11	12	1	18	6	0	1	10	11	12	10	0	0	0	5	3	2	0	3	3	0	3	3	0	1	3	5	2	6	1	0	1	5	1	4	1	16	29	27	39	31	2
ノルマン人	19	5	0	22	2	0	5	13	4	16	6	0	0	2	3	0	3	2	4	2	0	5	1	0	1	7	1	5	4	0	0	5	1	2	4	0	29	34	9	50	20	2
エドワード証聖王	2	6	16	7	13	4	2	3	17	8	10	4	0	0	5	0	2	3	0	4	2	1	3	2	0	2	7	1	5	3	0	3	3	1	3	2	4	18	50	18	36	18
ノルマンディー公ウィリアム	21	3	0	23	1	0	5	7	10	17	5	0	0	2	3	2	2	1	5	1	0	5	1	0	0	2	7	3	4	2	0	1	5	0	4	2	31	16	25	50	17	5
ケルト教会	2	9	13	10	10	4	1	5	16	4	15	3	0	0	5	1	1	3	0	4	2	0	5	1	0	2	7	3	3	3	0	2	4	1	3	2	3	22	47	19	37	16
マクアルピン家	2	1	21	6	11	7	0	0	22	1	9	12	0	0	5	0	1	4	0	0	6	0	2	4	0	1	8	0	5	4	0	0	6	0	3	3	2	2	68	7	31	34
ローマカトリック教会	19	5	0	22	2	0	6	14	2	14	8	0	0	4	1	3	2	0	4	2	0	6	0	0	1	5	3	4	5	0	2	1	3	3	2	1	32	31	9	52	19	1
ノルマン大征服	18	6	0	22	2	0	7	9	6	13	8	1	0	1	4	2	1	2	4	2	0	4	2	0	2	1	6	5	3	1	1	3	2	3	3	0	32	22	18	49	19	4
ヘイスティングズの戦い	9	11	4	15	9	0	2	9	11	13	8	1	0	1	4	3	1	1	0	3	3	0	5	1	0	1	7	1	4	3	0	0	6	0	4	2	11	25	35	32	31	8
ノルマンのくびき	1	1	22	2	9	13	0	1	21	0	5	17	0	0	5	0	1	4	0	2	4	0	4	2	0	1	8	1	2	6	0	0	6	1	2	3	1	5	66	4	23	45
封建制度	21	3	0	23	1	0	13	9	0	18	4	0	3	2	0	4	1	0	4	0	1	4	1	0	1	1	7	7	2	0	1	4	1	6	0	0	43	19	9	62	9	0
封土	16	8	0	19	5	0	7	7	8	12	7	3	1	2	2	2	2	1	6	0	0	6	0	0	3	1	5	6	2	1	1	2	3	4	2	0	34	20	18	49	18	5
荘園	20	4	0	21	3	0	14	8	0	17	5	0	3	2	0	4	1	0	6	0	0	6	0	0	4	2	3	7	2	0	2	2	2	5	1	0	49	18	5	60	12	0
農奴	21	3	0	23	1	0	13	5	4	16	6	0	3	1	1	4	0	1	6	0	0	6	0	0	4	3	2	6	3	0	1	3	2	5	1	0	48	15	9	60	11	1

高校世界史履修 / センター試験世界史受験	英語Ⅳで英国史受講（51人）								海外研修準備で英国史勉強（21人）								合計（72人）			
	有				無				有				無							
	有				無				有				無							
	24人				22人				5人				6人				9人			
下記項目について	○＝簡単な説明ができる位の理解はある、△＝聞いたことはあるという程度、×＝（今なお）わからない																			
	受講前			受講後			受講前		受講後		受講前		受講後		受講前		受講後		受講前		受講後	
	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×
トゥームズディ・ブック	1	7	16	4	16	4	5	1	16	9	9	4	0	0	5	1	2	2	0	2	4	0	3	3	1	0	8	4	4	1	1	0	5	2	3	1	8	10	54	20	37	15
ノルマン朝	15	9	0	19	5	0	5	11	6	16	6	0	0	1	4	2	3	0	3	3	0	4	2	0	1	6	2	6	3	0	1	2	3	2	3	1	25	32	15	49	22	1
アンジュー家	4	12	8	8	13	3	0	3	18	3	10	8	0	0	5	2	2	1	0	5	1	0	5	1	0	2	7	2	4	3	0	0	6	0	2	4	4	22	45	15	36	20
プランタジネット朝	17	7	0	19	5	0	2	8	12	10	11	1	0	1	4	2	2	1	2	4	0	4	2	0	5	3	1	5	4	0	0	2	4	0	5	1	26	25	21	40	29	3
トマス・ベケット	4	7	13	12	8	4	1	5	16	9	7	5	0	0	5	3	1	1	0	4	2	0	5	1	0	2	7	2	4	3	0	1	5	0	5	1	5	19	48	26	30	16
リチャード獅子心王	10	8	6	17	7	0	2	7	13	14	8	0	0	1	4	2	2	1	0	4	2	0	4	2	0	2	7	0	5	4	0	1	5	0	2	4	12	23	37	33	28	11
マグナ・カルタ	23	1	0	24	0	0	11	11	0	21	1	0	2	3	0	3	2	0	5	1	0	5	1	0	4	3	2	7	2	0	0	3	3	2	3	1	45	22	5	62	9	1
シモン・ド・モンフォール	20	4	0	22	2	0	13	4	5	12	5	5	0	2	3	1	2	2	5	1	0	5	1	0	1	1	7	1	6	2	0	0	6	0	1	5	39	12	21	41	17	14
模範議会	18	5	1	23	0	1	3	8	11	9	6	7	0	2	3	0	3	2	5	1	0	5	1	0	1	1	7	3	4	2	0	1	5	0	2	4	27	18	27	40	16	16
百年戦争	23	1	0	24	0	0	7	10	5	18	4	0	0	3	2	1	4	0	5	1	0	5	1	0	2	6	1	7	2	0	1	3	2	3	3	0	38	24	10	58	14	0
ジョアン・オブ・アルク	11	2	11	14	4	6	8	3	11	13	2	7	3	2	0	4	0	1	2	0	4	2	1	3	0	1	8	0	3	6	0	5	1	0	3	3	24	13	35	33	13	26
エドワード黒太子	14	9	1	20	3	1	3	7	12	11	10	1	0	1	4	2	3	0	4	2	0	5	1	0	0	1	8	1	6	2	0	5	1	0	3	3	21	25	26	39	26	7
ランカスター朝	12	9	3	15	8	1	2	10	10	10	12	0	0	3	2	0	5	0	4	2	0	5	1	0	1	4	4	5	4	0	0	2	4	1	4	1	19	30	23	36	34	2
バラ戦争	19	5	0	21	3	0	4	13	5	18	4	0	0	3	2	3	2	0	4	2	0	6	0	0	3	2	4	6	3	0	0	2	4	3	2	1	30	27	15	57	14	1
ヨーク朝	16	8	0	18	6	0	2	10	10	11	11	0	0	2	3	0	5	0	3	2	1	3	2	1	2	3	4	4	5	0	0	3	3	1	5	0	23	28	21	37	34	1
大司教(注：大主教の誤り)	3	10	11	16	8	0	5	11	6	12	10	0	1	3	1	1	4	0	4	2	0	5	1	0	4	2	3	8	1	0	0	4	2	1	4	1	17	32	23	43	28	1
修道院	16	6	2	19	5	0	12	9	1	17	5	0	2	2	1	3	1	1	5	1	0	5	1	0	4	4	1	7	2	0	1	4	1	4	2	0	40	26	6	55	16	1
十字軍	23	1	0	23	1	0	12	9	1	20	2	0	3	2	0	3	2	0	5	1	0	5	1	0	5	3	1	8	1	0	2	3	1	5	1	0	50	19	3	64	8	0
カンタベリー大聖堂	5	14	5	12	12	0	4	9	9	9	12	1	0	2	3	0	4	1	1	5	0	2	4	0	2	4	3	6	3	0	1	2	3	3	2	1	13	36	23	32	37	3
ウィリアム・ウォレス	0	1	23	5	8	11	1	1	20	1	10	11	0	0	5	0	0	5	0	2	4	0	4	2	0	0	9	2	4	3	0	1	5	0	4	2	1	5	66	8	30	34
ロバート・ブルース	0	1	23	2	8	14	0	1	21	2	4	16	0	0	5	0	1	4	0	1	5	0	1	5	0	0	9	0	1	8	0	1	5	1	2	3	0	4	68	5	17	50
ペイル	1	2	21	1	5	18	0	0	22	0	2	20	0	0	5	0	0	5	0	1	5	0	1	5	0	0	9	0	0	9	0	1	4	1	2	2	1	4	66	2	10	59
三圃式農業	17	7	0	23	1	0	7	5	10	16	5	1	1	1	3	5	0	0	4	1	1	5	0	1	3	1	5	4	5	0	2	0	4	3	3	0	34	15	23	56	14	2
ワット・タイラー	14	9	1	17	7	0	2	7	13	9	11	2	0	2	3	1	2	2	3	3	0	5	1	0	2	0	7	5	4	0	0	1	5	0	4	2	21	22	29	37	29	6
ギルド	20	4	0	21	3	0	5	14	3	15	6	1	2	2	1	3	2	0	4	1	1	5	1	0	2	2	5	5	3	1	0	2	4	1	4	1	33	25	14	50	19	3
冒険商人	2	2	20	5	10	9	0	4	18	3	9	10	0	1	4	1	2	2	0	3	3	0	3	3	1	1	7	1	4	4	0	2	4	1	3	2	3	13	56	11	31	30
チューダー朝	14	10	0	19	5	0	3	9	10	11	11	0	0	1	4	1	3	1	3	3	0	4	2	0	0	6	3	2	6	1	1	0	5	1	4	1	21	29	22	38	31	3
ヘンリー８世	18	5	1	22	2	0	5	6	11	15	7	0	0	3	2	3	2	0	4	2	0	5	1	0	1	7	1	2	7	0	1	2	3	1	4	1	29	25	18	48	23	1
枢密院	7	11	6	13	11	0	6	11	5	8	14	0	1	2	2	1	3	1	3	3	0	4	2	0	2	3	4	6	2	1	0	3	3	2	3	1	19	33	20	34	35	3
トマス・モア	17	7	0	19	5	0	2	11	9	6	15	1	0	2	3	1	3	1	4	2	0	4	2	0	0	3	6	3	4	2	1	1	4	2	3	1	24	26	22	35	32	5

高校世界史履修 / センター試験世界史受験	英語Ⅳで英国史受講（51人）				海外研修準備で英国史勉強（21人）				合計（72人）	
	有		無		有		無			
	有		無		有		無			
	24人		22人	5人	6人	9人	6人		72人	
下記項目について	○＝簡単な説明ができる位の理解はある、△＝聞いたことはあるという程度、×＝（今なお）わからない									
	受講前	受講後	受講前	受講後	受講前	受講後	受講前	受講後	受講前	受講後
	○ △ ×	○ △ ×	○ △ ×	○ △ ×	○ △ ×	○ △ ×	○ △ ×	○ △ ×	○ △ ×	○ △ ×
英国国教会	19 5 0	22 2 0	3 10 9	9 11 2	1 4 0	3 2 0	5 1 0	6 0 0	1 2 6	4 4 1	1 0 5	3 3 0	30 22 20	47 22 3
国王至上法	13 7 4	17 7 0	0 8 14	10 9 3	0 0 5	1 3 1	1 4 1	3 3 0	2 1 6	4 2 3	0 1 5	1 3 2	16 21 35	36 27 9
六箇条	2 1 21	3 10 11	0 3 19	5 7 10	0 0 5	0 2 3	0 3 3	0 5 1	0 2 7	2 6 1	0 1 5	1 2 3	2 10 60	11 32 29
共通祈祷書	1 2 21	2 10 12	0 1 21	0 7 15	0 0 5	0 1 4	0 1 5	0 1 5	0 1 8	0 4 5	0 1 5	0 3 3	1 6 65	2 26 44
メアリ１世	14 10 0	22 2 0	1 7 14	11 11 0	0 1 4	2 1 2	4 2 0	5 1 0	0 2 7	3 4 2	0 3 3	1 5 0	19 25 28	44 24 4
エリザベス１世	22 2 0	23 1 0	6 14 2	19 3 0	1 3 1	3 2 0	5 1 0	5 1 0	2 4 3	5 4 0	1 4 1	3 3 0	37 28 7	58 14 0
貧民救助法	14 7 3	20 4 0	4 10 8	14 7 1	3 1 1	3 1 1	2 3 1	2 4 0	2 1 6	6 3 0	0 2 4	2 4 0	25 24 23	47 23 2
イングリッシュ・ルネサンス	4 8 12	8 14 2	2 8 12	7 13 2	0 0 5	1 2 2	0 5 1	0 6 0	0 1 8	1 6 2	0 0 6	2 3 1	6 22 44	19 44 9
スペイン無敵艦隊	21 3 0	23 1 0	8 8 6	13 9 0	1 3 1	3 2 0	4 2 0	5 1 0	2 3 4	7 1 1	1 2 3	2 3 1	37 21 14	53 17 2
スチュアート朝	17 7 0	20 4 0	3 9 10	10 12 0	0 2 3	1 4 0	4 2 0	4 2 0	1 4 4	5 3 1	1 2 3	1 4 1	26 26 20	41 29 2
ピルグリム・ファーザーズ	17 6 1	24 0 0	3 6 13	6 4 12	0 2 3	2 2 1	5 1 0	5 1 0	2 2 5	2 4 3	0 1 5	0 3 3	27 18 27	39 14 19
メイフラワー号	17 7 0	22 2 0	5 7 10	7 8 7	1 3 1	2 3 0	4 2 0	5 1 0	4 1 4	5 4 0	1 2 3	2 4 0	32 22 18	43 22 7
ジェームズ１世	18 5 1	20 4 0	3 7 12	12 10 0	0 2 3	2 2 1	2 4 0	2 4 0	2 2 5	2 5 2	1 2 3	2 3 1	26 22 24	40 28 4
王権神授説	23 1 0	24 0 0	14 8 0	20 2 0	4 1 0	4 1 0	5 1 0	6 0 0	4 2 3	7 2 0	0 2 4	2 3 1	50 15 7	63 8 1
チャールズ１世	17 6 1	19 5 0	2 12 8	12 10 0	0 2 3	2 2 1	3 3 0	3 3 0	2 3 4	4 4 1	1 1 4	1 4 1	25 27 20	41 28 3
長期議会	11 7 6	14 9 1	1 7 14	7 12 3	0 0 5	0 2 3	2 3 1	2 3 1	1 2 6	2 5 2	0 0 6	1 2 3	15 19 38	26 33 13
議会派・王党派	12 11 1	17 7 0	2 6 14	12 8 2	0 0 5	2 2 1	1 5 0	1 5 0	1 3 5	3 4 2	0 2 4	1 2 3	16 27 29	36 28 8
独立派	9 15 0	9 12 3	2 5 15	8 9 5	0 0 5	1 2 2	0 5 1	1 4 1	0 4 5	3 4 2	0 0 6	1 1 4	11 29 32	23 32 17
残部議会	2 4 18	8 12 4	1 4 17	8 8 6	0 0 5	2 1 2	0 2 4	0 4 2	1 0 8	2 3 4	0 0 6	1 1 4	4 10 58	21 29 22
オリバー・クロムウェル	19 5 0	22 2 0	6 8 8	15 7 0	1 3 1	3 2 0	4 2 0	5 1 0	0 3 6	2 6 1	0 3 3	2 2 2	30 24 18	49 20 3
護国卿	19 5 0	23 1 0	2 8 12	6 12 4	1 2 2	1 3 1	5 1 0	5 1 0	0 3 6	2 6 1	0 0 6	1 1 4	27 19 26	38 24 10
清教徒革命	22 2 0	21 3 0	10 12 0	18 4 0	2 3 0	3 2 0	4 1 1	4 2 0	0 8 1	8 1 0	2 2 2	4 1 1	40 28 4	58 13 1
共和制	12 12 0	18 6 0	2 11 9	20 2 0	2 1 2	3 0 2	2 3 1	2 3 1	0 5 4	3 5 1	0 3 3	1 4 1	18 35 19	47 20 5
王政復古	12 9 3	16 7 1	6 10 6	19 2 1	3 1 1	3 1 1	4 2 0	4 2 0	3 5 1	7 2 0	1 2 3	3 2 1	29 29 14	52 16 4
英蘭戦争	7 15 2	11 13 0	3 6 13	4 17 1	1 1 3	2 1 2	2 4 0	2 4 0	0 3 6	2 6 1	1 1 4	1 2 3	14 30 28	22 43 7
ロンドン大火	0 5 19	6 15 3	1 7 14	7 14 1	0 1 4	1 3 1	1 2 3	1 3 2	0 2 7	1 6 2	0 1 5	1 5 0	2 18 52	17 46 9
国民派・宮廷派	2 6 16	8 12 4	1 5 16	7 11 4	0 0 5	0 1 4	0 1 5	0 3 3	0 1 8	0 6 3	0 0 6	1 2 3	3 13 56	16 35 21
ウィッグ・トーリ	17 7 0	21 3 0	2 8 12	17 5 0	0 3 2	4 1 0	1 2 3	1 4 1	0 1 8	1 4 4	0 1 5	0 2 4	20 22 30	44 19 9
ジェームズ２世	12 12 0	16 8 0	3 7 12	8 14 0	0 1 4	1 2 2	2 3 1	2 3 1	0 2 7	1 5 3	1 1 4	1 2 3	18 26 28	29 34 9
名誉革命	21 3 0	22 2 0	13 9 0	18 4 0	2 2 1	3 1 1	5 1 0	6 0 0	1 8 0	7 2 0	1 4 1	2 4 0	43 27 2	58 13 1

高校世界史履修 / センター試験世界史受験	英語Ⅳで英国史受講（51人）												海外研修準備で英国史勉強（21人）												合計（72人）					
	有						無						有						無											
	有						無						有						無											
	24人						22人				5人		6人			9人			6人				72人							
下記項目について	○＝簡単な説明ができる位の理解はある、△＝聞いたことはあるという程度、×＝（今なお）わからない																													
	受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後		
	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×
オレンジ公ウィリアム	17	6	1	19	5	0	1	5	16	10	10	2	0	1	4	2	2	1	5	1	0	5	1	0	0	2	7	2	4	3	0	0	6	0	4	2	23	15	34	38	26	8
権利の宣言	15	7	2	16	8	0	9	11	2	14	8	0	2	1	2	2	2	1	5	1	0	5	1	0	2	2	5	2	4	3	1	1	4	0	6	0	34	23	15	39	29	4
連合法	3	6	15	7	12	5	1	3	18	1	14	7	0	0	5	1	1	3	0	1	5	0	3	3	0	1	8	1	3	5	0	1	5	1	1	4	4	12	56	11	34	27
エンクロージャー	18	6	0	20	4	0	2	6	14	9	10	3	1	2	2	4	1	0	3	3	0	3	3	0	1	0	8	3	2	4	0	0	6	0	2	4	25	17	30	39	22	11
航海法	11	9	4	13	11	0	2	5	15	4	16	2	0	1	4	2	3	0	4	2	0	5	1	0	2	1	6	2	5	2	0	0	6	0	4	2	19	18	35	26	40	6
東インド会社	20	4	0	22	2	0	11	10	1	20	2	0	1	4	0	3	2	0	5	1	0	5	1	0	5	3	1	6	3	0	2	3	1	3	2	1	44	25	3	59	12	1
ロバート・ウォルポール	13	10	1	18	6	0	1	6	15	9	12	1	0	1	4	2	3	0	2	3	1	2	4	0	1	0	8	2	6	1	0	0	6	0	1	5	17	20	35	33	32	7
三角貿易	18	5	1	20	4	0	5	8	9	11	9	2	2	3	0	3	2	0	6	0	0	6	0	0	5	2	2	4	5	0	2	2	2	3	2	1	38	20	14	47	22	3
ハノーヴァー朝	14	9	1	19	4	1	2	7	13	4	18	0	0	1	4	1	2	2	3	2	1	3	3	0	0	2	7	0	7	2	0	1	5	1	2	3	19	22	31	28	36	8
七年法	3	4	17	5	12	7	0	1	21	2	12	8	0	0	5	0	2	3	1	1	4	1	3	2	0	1	8	1	5	3	0	2	4	1	2	3	4	9	59	10	36	26
腐敗選挙区	13	7	4	16	7	1	2	3	17	12	10	0	0	2	3	2	2	1	2	3	1	2	4	0	1	0	8	1	2	6	0	1	5	0	4	2	18	16	38	33	29	10
懐中選挙区	0	4	20	9	8	7	2	1	19	5	9	8	0	0	5	2	0	3	0	0	6	0	1	5	0	0	9	0	3	6	0	1	5	0	2	4	2	6	64	16	23	33
南海泡沫事件	0	1	23	5	10	9	0	0	22	8	10	4	0	0	5	1	2	2	0	0	6	0	1	5	0	0	9	2	4	3	0	1	5	0	3	3	0	2	70	16	30	26
メソジスト	1	3	20	4	7	13	0	0	22	2	8	12	0	0	5	1	1	3	0	0	6	0	2	4	0	1	8	0	2	7	0	1	5	0	4	2	1	5	66	7	24	41
ジャコバイトの乱	5	10	9	6	17	1	0	1	21	4	9	9	0	0	5	1	1	3	1	2	3	1	4	1	0	1	8	1	5	3	0	1	5	0	4	2	6	15	51	13	40	19
スペイン継承戦争	14	9	1	19	5	0	1	9	12	9	12	1	0	2	3	1	4	0	5	1	0	5	1	0	1	2	6	5	4	0	0	1	5	1	3	2	21	24	27	40	29	3
オーストリア継承戦争	15	8	1	19	5	0	1	11	10	10	12	0	0	2	3	1	4	0	5	1	0	6	0	0	0	2	7	4	5	0	0	1	5	1	3	2	21	25	26	41	29	2
七年戦争	16	7	1	19	5	0	1	14	7	12	10	0	0	1	4	1	4	0	5	1	0	5	1	0	0	2	7	4	5	0	0	2	4	1	5	0	22	27	23	42	30	0
ボストン茶会事件	18	6	0	20	4	0	3	7	12	5	9	8	0	2	3	2	1	2	4	1	1	5	1	0	2	1	6	3	0	6	0	0	6	0	2	4	27	17	28	35	17	20
ウィリアム・ピット	10	13	1	16	7	1	1	6	15	9	12	1	0	0	5	1	3	1	0	5	1	1	5	0	1	2	6	3	5	1	0	4	2	3	2	1	12	30	30	33	34	5
アダム・スミス	19	5	0	20	4	0	16	6	0	17	5	0	4	0	1	4	1	0	3	3	0	5	1	0	2	7	0	3	5	1	1	4	1	4	1	1	45	25	2	53	17	2
人身保護法	7	12	5	13	10	1	0	5	17	7	14	1	0	1	4	2	2	1	0	3	3	0	4	2	1	2	6	1	7	1	0	2	4	0	3	3	8	25	39	23	40	9
扇動禁止法	1	2	21	5	9	10	0	3	19	5	13	4	0	0	5	2	1	2	0	0	6	0	0	6	0	0	9	3	2	4	0	1	5	0	4	2	1	6	65	15	29	28
プラッシーの戦い	10	13	1	13	11	0	2	3	17	6	6	10	0	1	4	1	2	2	1	4	1	1	4	1	0	2	7	2	2	5	0	1	5	0	4	2	13	24	35	23	29	20
カナダ法	1	2	21	4	10	10	0	1	21	3	8	11	0	1	4	1	2	2	0	0	6	0	2	4	0	0	9	1	2	6	0	0	6	0	4	2	1	4	67	9	28	35
キャプテン・クック	8	12	4	14	10	0	4	11	7	7	13	2	0	4	1	1	4	0	2	4	0	2	4	0	1	3	4	2	5	1	0	2	4	1	4	1	15	36	20	27	40	4
統一アイルランド人同盟	1	3	20	3	16	5	0	1	21	2	13	7	0	0	5	0	4	1	0	1	5	0	4	2	0	0	9	4	2	3	0	1	5	2	2	2	1	6	65	11	41	20
トレヴィシック	1	4	19	2	4	18	0	0	22	0	2	20	0	0	5	0	1	4	0	0	6	0	1	5	0	0	9	1	2	6	0	1	5	0	3	3	1	5	66	3	13	56
ニューコメン	15	4	5	15	6	3	0	1	21	4	5	13	0	0	5	0	1	4	2	2	2	2	2	2	0	1	8	1	3	5	0	0	6	0	4	2	17	8	47	22	21	29
ヴィクトリア１世	13	11	0	15	9	0	2	9	11	7	13	2	0	2	3	1	3	1	1	2	3	1	3	2	1	3	5	3	5	1	0	1	5	1	4	1	17	28	27	28	37	7

高校世界史履修 / センター試験世界史受験	英語Ⅳで英国史受講（51人）												海外研修準備で英国史勉強（21人）												合計（72人）			
	有						無						有				無											
	有						無						有				無											
	24人						22人				5人		6人				9人				6人				72人			
下記項目について	○＝簡単な説明ができる位の理解はある、△＝聞いたことはあるという程度、×＝（今なお）わからない																											
	受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後		
	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×
クリスタル・パレス	8	2	14	14	2	8	0	0	22	5	6	11	0	0	5	1	2	2	0	1	5	1	0	5	0	0	9	1	2	6	0	0	6	0	2	4	8	3	61	22	14	36
グラッドストン	12	12	0	16	8	0	0	7	15	7	7	8	0	1	4	1	2	2	2	3	1	3	2	1	0	1	8	2	3	4	0	1	5	0	3	3	14	25	33	29	25	18
ディズレーリ	12	11	1	15	9	0	0	5	17	8	6	8	0	0	5	1	3	1	3	2	1	4	1	1	1	1	7	2	2	5	0	1	5	0	3	3	16	20	36	30	24	18
チャーチスト運動	14	10	0	17	7	0	2	13	7	8	14	0	0	4	1	1	3	1	2	3	1	2	4	0	1	3	5	3	5	1	1	2	3	1	4	1	20	35	17	32	37	3
全国労働組合大連合	16	2	6	7	14	3	0	2	20	4	17	1	0	0	5	0	3	2	0	1	5	1	2	3	1	0	8	2	5	2	2	0	4	2	3	1	19	5	48	16	44	12
労働党・保守党	14	10	0	19	5	0	9	9	4	17	5	0	2	1	2	3	2	0	3	3	0	4	2	0	2	5	2	6	3	0	2	2	2	3	2	1	32	30	10	52	19	1
ロバート・オーウェン	12	11	1	15	9	0	0	8	14	7	15	0	0	0	5	1	3	1	2	3	1	2	4	0	2	0	7	2	4	3	1	1	4	1	2	3	17	23	32	28	37	7
グラマー・スクール	2	4	18	8	10	6	0	2	20	5	11	6	0	0	5	2	1	2	0	2	4	4	1	1	1	0	8	3	2	4	0	2	4	2	3	1	3	10	59	24	28	20
クリミア戦争	12	12	0	17	7	0	4	13	5	10	11	1	0	4	1	1	4	0	3	3	0	6	0	0	1	4	4	4	5	0	0	3	3	2	3	1	20	39	13	40	30	2
ナイチンゲール	21	3	0	22	2	0	14	8	0	21	1	0	2	3	0	4	1	0	4	2	0	6	0	0	8	0	1	8	1	0	2	3	1	5	1	0	51	19	2	66	6	0
公衆衛生法	6	2	16	8	14	2	0	7	15	7	14	1	1	2	2	1	3	1	1	2	3	1	4	1	1	2	6	4	4	1	1	1	4	2	3	1	10	16	46	23	42	7
カトリック解放法	9	10	5	13	10	1	1	4	17	7	12	3	0	1	4	1	3	1	2	3	1	2	4	0	0	2	7	2	4	3	1	2	3	1	3	2	13	22	37	26	36	10
トラファルガーの戦い	13	11	0	17	7	0	3	9	10	10	10	2	0	2	3	2	3	0	3	3	0	5	1	0	1	2	6	2	7	0	0	1	5	1	3	2	20	28	24	37	31	4
ネルソン提督	15	7	2	18	5	1	3	10	9	12	8	2	0	1	4	1	4	0	3	3	0	4	2	0	1	0	8	1	4	4	0	1	5	1	5	0	22	22	28	37	28	7
ウェリントン公爵	5	4	15	5	12	7	0	4	18	1	12	9	0	0	5	1	2	2	0	3	3	1	4	1	1	0	8	1	4	4	0	1	5	0	4	2	6	12	54	9	38	25
ワーテルローの戦い	14	9	1	16	8	0	5	2	15	10	8	4	0	1	4	0	3	2	3	3	0	3	3	0	1	3	5	2	5	2	0	2	4	1	2	3	23	20	29	32	29	11
ウィーン条約	13	10	1	18	6	0	8	12	2	12	10	0	1	2	2	2	2	1	4	2	0	5	1	0	2	2	5	2	6	1	0	2	4	1	4	1	28	30	14	40	29	3
インド大反乱	16	8	0	22	2	0	8	9	5	13	7	2	1	1	3	2	1	2	3	3	0	5	1	0	3	3	3	3	5	1	2	2	2	2	3	1	33	26	13	47	19	6
アヘン戦争	23	1	0	24	0	0	17	5	0	20	2	0	3	2	0	4	1	0	4	2	0	5	1	0	6	3	0	7	2	0	2	3	1	3	3	0	55	16	1	63	9	0
トランスヴァール	12	9	3	17	6	1	1	3	18	4	9	9	0	0	5	2	1	2	3	2	1	4	2	0	0	0	9	2	3	4	0	0	6	0	4	2	16	14	42	29	25	18
オレンジ自由国	13	9	2	17	6	1	2	4	16	6	9	7	0	0	5	2	1	2	3	2	1	4	2	0	2	0	7	3	4	2	0	0	6	1	3	2	20	15	37	33	25	14
ブール戦争	12	8	4	16	7	1	2	0	20	3	11	8	0	0	5	2	1	2	3	2	1	4	2	0	0	1	8	1	4	4	0	1	5	1	2	3	17	12	43	27	27	18
同盟国・連合国	24	0	0	24	0	0	16	5	1	21	1	0	3	0	2	3	1	1	5	1	0	6	0	0	4	4	1	6	3	0	2	2	2	3	2	1	54	12	6	63	7	2
枢軸国・連合国	24	0	0	24	0	0	16	4	2	20	2	0	3	0	2	3	0	2	5	1	0	6	0	0	4	4	1	6	3	0	2	2	2	3	1	2	54	11	7	62	6	4
ソンム川の戦い	4	4	16	7	7	10	1	3	18	2	7	13	0	0	5	0	1	4	0	2	4	0	4	2	0	1	8	1	1	7	0	0	6	0	1	5	5	10	57	10	21	41
ヴェルサイユ条約	20	4	0	21	3	0	16	6	0	18	4	0	2	3	0	3	2	0	6	0	0	6	0	0	4	4	1	6	3	0	3	2	1	4	2	0	51	19	2	58	14	0
労働災害補償法	0	3	21	3	14	7	1	4	17	3	13	6	0	1	4	0	3	2	0	1	5	0	2	4	0	1	8	2	4	3	0	0	6	1	2	3	1	10	61	9	38	25
ゼネラル・ストライキ	2	10	12	9	12	3	3	10	9	13	7	2	0	2	3	0	4	1	0	3	3	2	2	2	2	1	6	3	4	2	0	2	4	2	2	2	7	28	37	29	31	12
イースター蜂起	2	8	14	10	11	3	1	4	17	3	12	7	0	1	4	1	3	1	0	2	4	1	4	1	0	2	7	0	6	3	0	1	5	2	2	2	3	18	51	17	38	17
アイルランド自由国	8	9	7	14	10	0	1	4	17	4	17	1	0	0	5	0	3	2	2	2	2	3	2	1	1	1	7	2	4	3	0	2	4	2	2	2	12	18	42	25	38	9

高校世界史履修	英語Ⅳで英国史受講（51人）												海外研修準備で英国史勉強（21人）												合計（72人）					
	有						無						有						無											
センター試験世界史受験	有						無						有						無											
	24人						22人						5人						6人						9人					
	○＝簡単な説明ができる位の理解はある、△＝聞いたことはあるという程度、×＝（今なお）わからない																													
下記項目について	受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後			受講前			受講後		
	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×	○	△	×
エール（アイルランド共和国）	7	13	4	18	6	0	1	5	16	6	15	1	0	1	4	0	4	1	1	3	2	4	2	0	0	3	6	2	5	2	0	1	5	2	3	1	9	26	37	32	35	5
アルスター義勇軍	4	8	12	12	9	3	2	1	19	8	9	5	0	2	3	0	5	0	0	1	5	3	2	1	0	3	6	2	6	1	0	0	6	2	1	3	6	15	51	27	32	13
アイルランド共和国軍	4	10	10	12	10	2	1	5	16	6	14	2	1	1	3	1	4	0	0	1	5	3	2	1	1	2	6	3	5	1	0	1	5	2	1	3	7	20	45	27	36	9
プリテンの戦い	2	4	18	6	11	7	1	3	18	9	9	4	0	0	5	1	2	2	0	1	5	1	4	1	1	1	7	3	6	0	0	0	6	2	2	2	4	9	59	22	34	16
エルアラメインの戦い	2	0	22	2	9	13	0	1	21	0	4	18	0	0	5	1	1	3	0	0	6	0	2	4	0	0	9	1	2	6	0	0	6	0	3	3	2	1	69	4	21	47
ウィンストン・チャーチル	14	4	6	15	4	5	6	10	6	10	8	4	2	3	0	3	2	0	3	3	0	4	2	0	0	2	7	3	3	3	0	1	5	1	4	1	25	23	24	36	23	13
ニュルンベルグ裁判	11	5	8	12	6	6	3	2	17	3	7	12	1	1	3	1	2	2	2	1	3	2	1	3	0	1	8	0	5	4	0	2	4	1	2	3	17	12	43	19	23	30
マーシャルプラン	15	9	0	16	8	0	10	11	1	13	9	0	4	1	0	4	1	0	5	1	0	6	0	0	3	4	2	6	2	1	0	1	5	2	2	2	37	27	8	47	22	3
NHS	0	0	24	0	3	21	0	0	22	0	4	18	0	0	5	0	0	5	1	0	5	1	0	5	0	1	8	3	2	4	0	1	5	0	3	3	1	2	69	4	12	56
コンプリヘンシブ・スクール	3	0	21	8	7	9	1	1	20	3	8	11	0	0	5	1	3	1	1	0	5	1	3	2	1	0	8	3	1	5	0	0	6	0	4	2	6	1	65	16	26	30
マーガレット・サッチャー	11	11	2	19	5	0	8	12	2	11	9	2	1	4	0	3	2	0	4	2	0	6	0	0	3	3	3	6	2	1	2	1	3	3	2	1	29	33	10	48	20	4
トニー・ブレア	12	9	3	14	8	2	5	16	1	11	10	1	3	2	0	3	2	0	5	1	0	5	1	0	6	0	3	7	1	1	4	0	2	4	1	1	35	28	9	44	23	5
EEC、EC、EU	19	5	0	20	4	0	12	9	1	14	7	1	4	1	0	4	1	0	6	0	0	6	0	0	6	2	1	8	1	0	4	1	1	5	0	1	51	18	3	57	13	2
国民会議派	10	5	9	9	11	4	0	4	18	2	9	11	0	0	5	0	2	3	1	3	2	2	2	2	1	0	8	3	5	1	0	1	5	0	4	2	12	13	47	16	33	23
バルフォア宣言	12	7	5	12	11	1	2	6	14	5	8	9	0	1	4	1	2	2	4	2	0	5	1	0	0	2	7	0	6	3	1	3	2	3	2	1	19	21	32	26	30	16
フォークランド紛争	8	6	10	10	10	4	4	5	13	3	9	10	1	1	3	2	2	1	2	3	1	3	3	0	1	1	7	1	6	2	1	1	4	1	3	2	17	17	38	20	33	19
湾岸戦争	15	8	1	16	8	0	11	11	0	15	7	0	2	3	0	2	3	0	4	2	0	6	0	0	6	3	0	7	2	0	3	2	1	4	1	1	41	29	2	50	21	1
合　計	1823	1072	1113	2414	1121	473	611	1081	1981	1553	1430	690	97	206	532	268	329	238	393	329	279	487	342	173	207	339	955	516	611	373	79	243	678	235	466	299	3210	3270	5538	5473	4299	2245
%	45	27	28	60	28	12	17	29	54	42	39	19	12	25	64	32	39	29	39	33	28	49	34	17	14	23	64	34	41	25	8	24	68	24	47	30	27	27	46	46	36	19